

平成24年度 地域の“まちづくりぴと”養成講座  
仲間づくりでまちづくり も～やっこ DE み～つけ♪

## 第2回 「まちを歩こう」 ～実際にまちを歩いて 魅力や課題を発見～

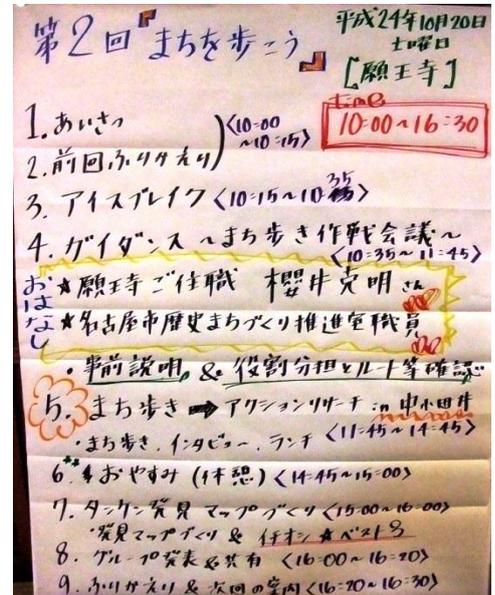
日時：平成24年10月20日（土）

場所：善光寺別院 願王寺

時間：10時00分～16時30分

爽やかな秋晴れとなり、まち歩きに適した天気となりました。  
受講生も26名の出席があり、多くの方に参加いただきました。

第1回目に欠席した受講生の方には、スタッフのまちづくりぴとが説明し、2人1組でそれぞれの名札に相手の似顔絵を描き合ってもらいました。



### 10:00～10:15 はじめに

最初に、配布資料の確認などを行った後、前回の講座の振り返りを行いました。

第1回目から期間が3週間程空いていましたが、皆さんには思い出していただけたようです。

続いてアイスブレイクの予定でしたが、プログラムの3と4の順番が変わり、ゲスト講師の願王寺ご住職のお話を先にお聴きしました。



### 10:15～10:55 願王寺ご住職と歴史まちづくり推進室主査のお話



#### お話の要旨

奈良や京都の有名寺院にはお出かけになられると思いますが、まちの中にあるお寺にお出かけするということは、あまりないのかなと思います。

私が思うには、お寺の役割といたしまして、ソフトの面では法要や法要後のちょっとしたお話があります。もう1つはまちの中にある広い空間と建物、こういったものを地域の方にいかに利用していただけるか。これも大切な役割ではないかなと思っております。

この岩倉街道に面した中小田井地区というのは、昭和62年に町並み保存地区に指定されたので、お寺として役に立たなければならぬと思われ、壊される建物等の移築をするなどしております。

その中で最初に移築したのが、松沢家のお屋敷で、戦後まもなく転売されましたが、私どもが一部の建物をこちらへ曳きました。

倉と土蔵を4棟。土蔵は解体をして移築するということができません。その為、レールを敷いて4棟曳きました。あとは灯籠などもこちらに移設しました。

庭にあります、お亭（東屋）ですが、これはお茶席の時の休憩所です。お亭（東屋）は2つあり、母屋側に1つと池の橋を渡ったところに1つありまして、堤防と同じ高さにありました。今は見えませんが、当時は名古屋城を見ながらお茶を飲むという優雅なお茶室がありました。そのお茶室を望鯨亭といいます。望鯨亭は解体をしまして隣のお寺が移築しました。

平成12年9月12日に東海豪雨があり、現在講座の会場に使われている平手家の母屋も水に浸かりました。平手さんはこの家を維持することを諦め、すぐに取り壊そうということになり、平成13年夏頃から取り壊しが始まりました。町内の人や教育委員会が何とかならないかと来られ、急きょ解体してこちらへ移築することになり、平成15年2月に完成いたしました。

この建物は、ふすまを開けて頂くと仏壇があります。この仏壇は2階の床の間に滑車がありますので上へ上げられるようになっています。教育委員会から仏壇と駕籠（かご）は、この建物と一緒に保存してほしいと要望されています。

私がこの建物を曳いた一番の願いは、建物の保存ともう1つは皆さんにご利用いただけること、これが一番うれしいです。

お寺の役割としましては、地域に貢献することを大切にしたいと思っております。

皮肉なことに町並み保存地区に指定されてから古い建物などはどんどん歯が抜けるがごとくなくなってしまいました。有松のように商業とまちが一体になっている所は残しやすいのですが、ここはそうではないので、維持費もかかり、気持ちだけで残すか残さないか決まってくるので、少し淋しいです。私のできることはほんの少しですので歯がゆい思いもしておりますが、皆さんにお越しいただいて利用していただけるといのはうれしく思っております。

続いて、名古屋市歴史まちづくり推進室坂崎主査より、町並み保存地区のあらましについてお話がありました。



#### お話の要旨

町並み保存地区とは、市内に残された貴重な歴史的な町並みを保存するため、昭和59年から制度が始まり、名古屋市町並み保存要綱により4つの地区を「町並み保存地区」に指定しています。「有松」、「白壁・主税・檀木」、「四問道」、「中小田井」の4地区が指定されておりまして「中小田井」は4番目、昭和62年に指定されております。

「町並み保存地区」の制度ですが、法上の規制ではなくガイドラインです。住民の皆さんと一緒にルールを決めたので、できる限り協力して町並みを保存していきましょうという制度になります。

中小田井の町並みについて、まちの成り立ちを簡単にご説明いたします。

中小田井周辺には、街道が通る前の中世から大きな村、小田井村がありました。

江戸時代の寛文7年、名古屋城下から中小田井を通過して岩倉街道が通じます。なぜ、この街道、中小田井集落が栄えたかと言いますと、枇杷島に尾張藩の青物市がありまして、岩倉方面からこの街道を通じて野菜などが搬送され、荷物を下ろして中小田井で休憩するなど、人々の往来が盛んになり、この街道沿いの町並みができました。

町並みの特徴ですが、東海道や宿場町の街道とは少し違いまして、元々農村だったこともあり、比較

的敷地に余裕があって間口が広い建物が多くなっています。

現在残っている歴史的建造物のほとんどは、明治24年の濃尾地震後に建てられたものです。

この濃尾地震でかなりやられてしまいました。ただ、平手家は濃尾地震に耐えました。この建物は江戸後期のもので、街道沿いに建っているものは明治、大正時代の建物です。

先ほどご住職から説明がありましたが、この建物の奥には、仏壇を2階に巻き上げる構造があるなど、洪水を意識した構造が見られる建造物も残っています。

町並みを見ていただくと分かるのですが、修理・修景基準はあくまでもガイドラインですので、どこまで徹底されているかという所をつっこまれますと私もなかなか返す言葉がありません。しかし、できる限りこういった基準を決めて協力できる範囲で協力する、補助金を活用しながら残してもらうというのが町並み保存地区の制度となります。

## 10:55~11:15 アイスブレイク

アイスブレイクは、「仲間さがし、仲間こわし」というものです。

「うどん派・そば派」の2つに分かれ、グループでいい点を出し合い、ひとり代表が皆から出された意見を発表しました。

続いて、四季の「春・夏・秋・冬」の4つに分かれます。皆声を出して季節ごとに仲間を見つけ、グループで自分達が選んだ季節のいい点を出し合い、出された意見を代表が発表しました。

これは、他のグループをわざとちょっと下げたりする面白さと、同じグループは共感が生まれるという効果があります。

次に、まち歩きをするときのチームビルディングを兼ねたアイスブレイクです。

スタッフ、男女と順番に並んで一重円を作ります。模造紙に書いた「ある」→「晩」→「チョット」→「デート」→「いい」→「雰囲気」という言葉を1人ずつ順番にテンポよく声に出して言います。言葉の頭文字をローマ字に直すと、「A」「B」「C」「D」「E」「F」になっています。それぞれ同じ言葉を使った人同士でA~Fのグループを作ります。順番に並んでいたのので、スタッフも分かれ、男女比率も偏らずにグループができました。



## 11:15~11:45 ガイダンス~まち歩き作戦会議

編成されたグループメンバーで、5分以内に全員が自己紹介をします。個人の制限時間は定めていませんが、1班に6~7人いるので、自己紹介を簡潔にする必要があります。1人が伝え終わるごとに拍手で次の人に回しました。

自己紹介が終わったら、グループでリーダー、ルート係、カメラ係、記録係、インタビュー係、インタビューメモ係などの役割分担を決めました。



講師の加藤武志さんから、「歩き方は各グループにお任せしますが、楽しんで歩いてきてください。いいなと思ったところや魅力を見つけてきてください。また、こうするといいなと思った課題や問題点を見つけたら、こうしたらもっとよくなるのにな、という提案やアイデアを膨らませながら歩いていただくと面白いと思います。」とアドバイスがありました。

まち歩きの方法は、インスタントカメラで最大20枚の写真を撮り、戻ってからマップ作りに使います。マップには、グループが歩いたルート、写真を撮った場所などを記録していきます。まちの人へのインタビューメモシートも活用しながら、まち歩きをします。

まち歩きの際の注意事項を確認していただき、特に交通安全と体調が悪くなったら無理をしないよう気を付けてもらいます。



## 11:45~15:00 まち歩き=アクションリサーチ in 中小田井

いよいよ準備が整ったグループから出発です。

先に願王寺でお弁当を広げながらまち歩きの打ち合わせをしているグループもありました。

途中で出会った地元の人にインタビューしたり、青空ランチをしたり、仲間と一緒にまち歩きをする楽しさを感じていただきながら3時間ほどのまち歩きを行いました。





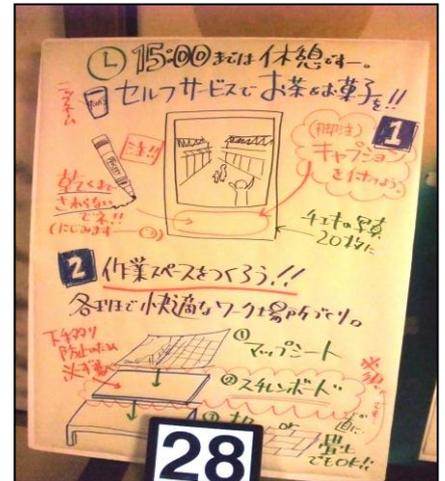
## 15:00~16:00 タンケン発見マップづくり

まち歩きを終えたグループが順次、明光閣に戻ってきました。多少疲労感もありますが、皆さん笑顔で全員無事に戻りました。

各班のテーブルには、マップ作り用の白地図が用意されています。まち歩きで気づいたことや発見したことなどを振り返りながら、次の共通の項目に沿ってマップを整理します。インスタントカメラで撮影した写真の空欄にはキャプションを付けます。

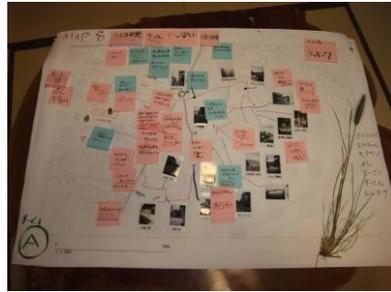
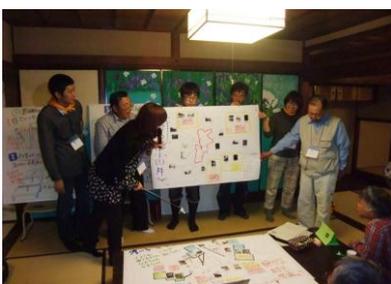
### 【タンケン発見マップづくり】

- ①歩いたルートをマップに記入（赤線で）
- ②インスタントカメラの写真を回りに添付（引出線でポイント明示）
- ③発見、気づき、インタビュー結果などポストイットやマップに直接書き込み（魅力、課題、提案）
- ④今回のまち探検を表すマップの名称をタイトルに！



16:00~16:20 グループ発表&共有

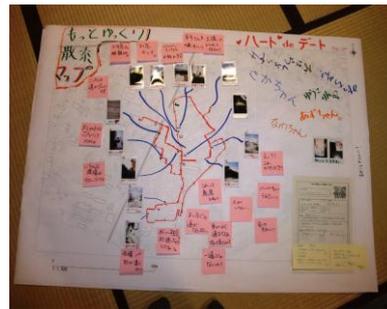
グループごとに「タンケン発見マップ」を発表します。各グループ3分間の持ち時間です。  
 まち歩きで見たもの、発見したものや気づいたことなどを発表しました。  
 なかには、本物の葉っぱやどんぐりが貼ってあるグループもありました。

<p>ラッキー</p>			<p>小さな発見でもいっぱい中小田井</p> 
<p>中小田井駅前は案内板が少なく、まちは人通りが少なく感じました。          名駅から近く、静かな住宅街が広がっている住みやすいまちのようでした。</p>			
<p>晩酌チーム</p>			<p>お宝うらマップ</p> 
<p>緑地公園にたくさんの人々が遊びにきていたが、ここに遊びに来ていた人たちは、岩倉街道のことを全く知らないという問題がありました。          古い町並みの隣に公園があっという環境でした。水害対策はよくできていました。</p>			
<p>チヨット調査隊</p>			<p>語るう中小田井 map</p> 
<p>お米屋さんには、お茶室、お蔵、四間道方面から移築した江戸時代の武家屋敷があり、隠れた名所なので公開してほしいと思います。          新しい町並みと古い町並みが融合していい雰囲気でした。</p>			

ハートDEデート



もっとゆっくり散策マップ



石積みは形が整っていてきれいでした。大きなお寺は魅力的。  
 街道沿いを少し中に入ると、茶室があったり、床屋さんでお話したりして、普段、仕事で来たときとは違い、ゆっくり散策するといろいろな魅力がありました。

オーいい仲隊



ひとふでがきのまち歩き Map



公園のあるまちは素敵。小田井温泉付近は静かでいいまちでした。  
 「あさがお」を作っているお家がありました。「日本あさがお」の発祥地は名古屋でした。

秋モミジ班



あたたかいまち中小田井



望鯨亭の中は茶室ではなく部屋でした。年に1度お盆にしか見られないが、こういう所を年間を通して公開してくれたらいいのになと思いました。  
 線路から向こうは新しいまち、こちらは古いまち、この2つを確認してきました。

最後に名古屋都市センター職員から次回の案内等を行い、第2回目の講座は終了しました。

1日限りで結成されたグループでしたが、役割分担したり個性を認め合ったりしながらいいグループワークが出来たようです。今回のまち歩きから得られたものや発見できたこと、または課題などを次回以降で活用していきましょう。

**\* アンケートより、全体を通じたご意見・ご感想など \*\***

- ・ まち歩き楽しかった。インタビューをすると、皆さんいい方でたくさん話を聞けて、中小田井のまちとの距離感(?)がぐっと近づいた。
- ・ 今日はとても楽しく貴重な時間を過ごせました。北区から近いのにすごく発見がありました。あとグループの中にセンターの方々がいたのが心強かったです。
- ・ グループ分け、大変と思います。よりよい仕分けは難しいと考えます。大勢の人達が共感できる街づくりが必要だと思います。古い街、新しい街づくりの参考になるとよいですね。
- ・ 私達がみていることは、どうしても上面だけの気がする。本当に住んでいる人にとっての問題はこうしたまちづくりででてくるとは思えない感じがしている。この違和感が最後まで講座をうけた後にどうなるか楽しみにしている。
- ・ 今後は継続出来れば！今後が楽しみです。
- ・ もう一度ゆっくり街あるきします。
- ・ やっぱり各グループ視点がちがっていて、同じまち歩きをしていても気づいたことは異なり発表は聞きごたえがありました。普段、ほとんど歩かない西区中小田井でいろんな発見ができ楽しかったです。
- ・ この地域のことももっと知りたいと思いました。他の人の意見・発表を聞いてみて、もっとがんばりたいとも思いました。
- ・ 1人で散策していたら、気づかない点やインタビューすることができて、様々なことに興味を持ちました。たくさん発見がありましたが、知識がなく、それがどんなものかわからないコトがたくさんありました。もう少し知識をつけて、まち歩きしたいです。
- ・ いろんな方とまち歩きをすることにより中小田井・多様な魅力に気づくことができた。
- ・ 1人でなく、多くの人と歩くことで同じ町、道が違った新たな発見がありました。ありがとうございました。
- ・ グループで歩いても1人ひとつの感じるところが違うのでオモシロイと思った。この多様性がまちづくりのアイディアの豊かさにつながるのかと思った。
- ・ 実際にまちを歩くことにより地図だけではイメージできなかった発見がいっぱいあった。歩くことも、昼食を外で食べたことも、古い建物の内まで入れてもらったことも、とても楽しく有意義でした。
- ・ 様々な「まちづくり」があって興味深かったです。ありがとうございました。
- ・ 心なごやかに楽しい1日でした。望鯨亭内部の見学ができ大変よかったです！
- ・ “タンケン発見マップづくり” みんなの意見をまとめるのは大変難しいと思いました。
- ・ ゆっくりと町を歩くと、たくさん発見があることにおどろきました。マップ作りは小学校の自由研究を思い出して楽しかったです。中小田井は想像以上に静かな町でした。

- ・ もっとゆっくり、もっといっぱい歩きたかったですが、きょうの量で、良い疲れがあるのでこのくらいに又、別のコースを歩いてみたいです。テーマを決めて別の歩き方をしたいです。
- ・ 生まれ育った小田井、歴史の流れは体験していましたが知らない点もありました。皆さんの明るい笑顔、熱意、前向き参加、大変有意義な時間でした。中小田井がもっと有名になるとうれしいですが・・・。
- ・ 長い距離を歩いたわけではないのに結構疲れた。途中すわって休憩をとるとよかったのかな。まちに人が少なかったがゆっくり見ることができた。
- ・ 岩倉街道の周辺、新しい発見がたくさんありました。今後は表だけでなく裏の「魅力」を楽しみます。
- ・ よく理解出来たグループワークで、参加者も若い人が多く良かった。
- ・ 幼い頃から歩いている“まち”でしたが改めて歩いて楽しくなりました・・・。お米屋さんの「奥」には、ちょっとビックリでした。静かでゆったりした“まち”“何もない”と思っていましたが、結構ありました。こんな感じがいいのかも。古いお店が無くなったのがちょっと残念です。
- ・ 気づく点がそれぞれ違い視点を別の角度で見てみることを常に考える必要があると感じました。
- ・ 割とせまい範囲を歩いたけど立ち止まるポイントが多くて、予想より時間がかかった。今日1日とても楽しかった。
- ・ 願王寺に歴史的建造物が移築された経緯、お米屋さんの奥の茶室や武家屋敷、堤防沿いのカエデの木、インタビューに答えてくださった方など、いろいろな発見があってよかったです。